

出張講義開講科目内容紹介

氏名	松田 淳 (まつだ じゅん) ※ 学部長
講義題目A	景気はなぜ変動するのか
キーワードA	国内総生産, 経済成長, 景気循環, 経済政策
講義概要A	仕事はもちろん, 日常生活を送るうえでも, 「景気」と関わることなく過ごすことは不可能です。では, その「景気」とは何なのでしょう。本講義では, 国内総生産 (GDP) と経済成長をひとつの基準として「景気」という事象を把握し, さらにはこれをコントロールする経済政策の必要性を, 理論, 歴史, 現状など, さまざまな角度から学びます。
対象	高校生
備考	5～7月、10～1月までの月・火・水 プロジェクターとスクリーンを使用します。
講義題目B	会社と企業はどう違うのか
キーワードB	会社法, 会社と企業, 株式会社
講義概要B	2005年に「会社法」が制定されたことで, 会社という存在が大きく変わりました。本講義では, まず企業と会社の相違を明確にしたうえで, 従来の「商法」が新たに「会社法」という法律に変わったことで, 会社, 特に株式会社の重要性が大きく増したことを念頭に置きつつ, 会社にはどのような形態が存在するのかを学びます。
対象	高校生
備考	5～7月、10～1月までの月・火・水 プロジェクターとスクリーンを使用します。

氏名	大志田 憲 (おおしだ けん)
講義題目A	SNS投稿における情報の収集と分析
キーワードA	コンピュータ, スマートフォン, ソーシャルメディア, SNS
講義概要A	スマートフォンなどの情報通信機器が普及することで, 多くの人々がSNSやブログなどのソーシャルメディアを活用し, 様々な情報を発信するようになりました。コンピュータを利用してSNSなどの投稿を収集・分析することで, その中から有用な情報を取り出すことも可能になります。岩手県に関するいくつかの投稿例 (観光地等) を参考に, どのような投稿が多いのか, またその内容の傾向なども紹介していきます。
対象	高校生
備考	プロジェクタが必要となります。
講義題目B	コンピュータグラフィックスプログラミング入門
キーワードB	コンピュータグラフィックス, プログラミング, 画像処理
講義概要B	コンピュータで扱う画像の色の仕組みから, 簡単な図形作成, 画像処理 (写真加工) まで, サンプルプログラムを使いながら学習します。Processing (プロセッシング) というプログラミングツールを使います。Processingはビジュアルデザインのためのプログラミング言語で, プログラミング初心者でも比較的簡単にグラフィック表示を行うことができます。短大情報処理演習室 (あるいは高校等のコンピュータ室) での講義となります。
対象	高校生
備考	プロジェクタおよびパソコン環境が必要となります。 会場については, 高校等のコンピュータ室での講義も可能な場合もありますので, 事前にご相談いただければと思います。

氏名	田中 宣廣 (たなか のぶひろ) 「日本語学」 ＝日本語音声学, 地域言語学, 社会言語学, 日本語史学
講義題目A	岩手県沿岸部の方言に学ぶ現代日本語の観方 (みかた)
キーワードA	生活語, 日本語, 地域言語, 沿岸部の方言, 地域文化, アクセント
講義概要A	この講座の目的は, 日本語と地域言語の正しい観方 (みかた) について考えることです。その材料に, 私たちの住む岩手県沿岸部の方言を使います。普段私たちが友達との会話や生活に使う日本語こそ, 私たちの思考や感情を100%表現しきれる唯一の表現体系です。その正確な認識は, 「国語」の成績向上や豊かな言語生活そして正しいコミュニケーションに必要です。また, 本講座の材料の岩手県沿岸部の方言には, 日本語の中でも珍しい現象があります。ぜひこの機会に一つでも二つでも理解し, 地域文化に対する愛着心を抱いていただきたいと思います。 【予定内容】 1_『岩手県沿岸部の方言』の位置と概要 / 2_「岩手県沿岸部方言」の特徴 / 3_岩手県内外の他地域との異同内容 / 4_地域言語の将来
講義題目B	ことばの声を目で見える工夫
キーワードB	言語音声, 調音器官, 音声記号, 音声波形, ピッチグラム, サウンドスペクトログラム
講義概要B	考察課題は「言語音声の可視化」です。言語音声 (ことばの声) はそのままでは見えませんね。そのなか言語学の研究では, 言語音声を可視化=見えるように種々工夫しています。可視化する理由は, 可視化すると, 言語音声のしくみが (見えないままではわからないことも) よくわかるからです。この講義では, 下記「予定内容」の4段階で言語音声可視化の概要を理解します。 【予定内容】 1_言語音声の生成機構 / 2_言語音声の可視化方式 / 3_可視化により理解できる音声性質 / 4_代表の人 (数人) が言語音声を発音して実際の音声を可視化
講義題目C	「狂言」資料からわかる現代日本語の成り立ち
キーワードC	能楽, 狂言, 近代語, 現代語, 方言, 活用型, 変遷
講義概要C	「狂言」は, 南北朝～室町時代に成立発展し, 江戸時代を通じて台本が整理され, 現代に伝わる日本芸能を代表する, “喜劇性”や“日常性”が特徴の演劇です。「能」と共用の「能舞台」で演じられ, 「能」といわば『兄弟』のように発展してきました。「狂言」に使われているのは江戸時代の日常のことばなので, 狂言台本の日本語を調べますと現代日本語の形成過程がよく分かります。台本や動画から語彙・語法・音韻等の言語現象について適宜解説を加えつつ考察していきます。また, 伝統芸能も「易しい」「楽しい」「親しみやすい」ものであることを理解しましょう。 【予定内容】 1_日本語の歴史の区分 / 2_狂言台本の日本語 / 3_語法の変遷 / 4_語彙の変遷 / 5_狂言の構成 / 6_能舞台と舞台上の人々の役割 / 7_能楽の流儀 / 8_狂言鑑賞入門
対象 (3講義共通)	中学生, 高校生, 学校教職員, 及び, 講義内容にご興味をお持ちの一般の方。 ～講座の内容や構成は, 受講者に合わせて調整します～
備考 A・B・C 3講義共通の準備	3講義のいずれの科目がお望みか, 事前にお知らせください。 【必要設備】 パソコンからHDMI接続による大画面の映像投影+音声発出装置をご用意ください。 パソコンは, 講師が持参しますので, それ以外の投影+音声装置をご用意いただきます。 なお, C講義においては, これに加え, DVDによる動画上映装置を必要とします。

氏名	岩田 智 (いわた さとし)
講義題目A	学校卒業時の地元就職を考える
キーワードA	就職活動、Uターン、Iターン、Jターン
講義概要A	本講義では、生まれ育った地域への就職を考えます。地元就職を考えるのは、学校卒業時または県外で就職している方が何らかの理由で転職して生まれ育った地域に就職をしたいと思うときです。本講義では、県や市町村などの行政の立場からではなく、地元就職を希望する人の立場にたって、なるべく有利な地元就職方法について考えます。
対象	中学生以上
備考	講義にあたり、プロジェクターなどが必要です。講義は、一日一回60分です。
講義題目B	交通弱者保護の観点から地域交通を考える
キーワードB	交通弱者、公共交通、バス、三陸鉄道、IGR銀河鉄道
講義概要B	本講義では、交通弱者保護の観点から地域の公共交通のあり方を考えます。ここで、交通弱者とは、自動車を自分で利用できない人を指します。具体的には、自動車免許と持っていない人、自分の運転する自動車を所有していない人です。 全国的に少子高齢化・過疎化などにより、過疎地域を中心に地域の交通を支えるバス・鉄道などの重要性が増しています。しかし、人口減少による乗車人数の減少により、これらの交通機関は経営的に厳しさを増す一方です。そこで、本講義では、人口減少社会において、交通弱者保護の観点から、地域の交通を守るためにどうすればよいか考えます。
対象	中学生以上
備考	講義にあたり、プロジェクターなどが必要です。講義は、一日一回60分です。

氏名	鎌田 真人 (かまだ まさひと)
講義題目	人間とコンピュータ ーコンピュータ囲碁・将棋から考えるー
キーワード	人間、コンピュータ、AI、ゲーム、囲碁、将棋
講義概要	囲碁や将棋は、二人零和有限確定完全ゲームの一つで、数十年前からコンピュータによる対局ソフトの研究が行われてきました。そして、AIが人間よりも強くなりました。しかし、今でもプロ棋士が存在し、多くの人に楽しまれています。 本講義では、囲碁・将棋を通じて、人間とAIのかかわりがどのように変わってきたかを話します。
対象	高校生
備考	

氏名	齋藤 香織 (さいとう かおり)
講義題目A	社会の問題を数学で考える
キーワードA	社会現象、数学、モデル
講義概要A	人と人のつながりや関係、組織や国の間の問題など、社会現象や社会課題を解明するためには、その問題がなぜ起こるのか、どのようなしくみや過程で起こるのか、問題発生メカニズムやプロセスを明らかにすることが求められます。いろいろな要因が絡み合い起こる社会現象をシンプルな関係でモデル化し、問題が発生する仕組みを論理的に説明するには、数学はとても便利なツールです。身近な現象を数学を使ったモデルで考えることで、問題を科学的に捉える視点の面白さを理解してもらい、数学を身近に感じてもらうことを目的とします。
対象	中学生、高校生
備考	プロジェクターとスクリーンを使用します。
講義題目B	持続可能な社会の実現とは？ - 企業と社会の関係から考えよう。
キーワードB	社会、環境、SDGs、CSR
講義概要B	2015年に国連サミットで制定された持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs) は、持続可能でよりよい社会を目指し、個人だけでなく、国や企業の活動や行動変化の必要を求めています。企業の活動と社会や環境との関係を整理しながら、企業活動の変化がどのように私たちの社会や生活にどのような影響を及ぼすのか考えていきます。
対象	中学生以上
備考	

氏名	昇高 茂樹 (しょうたか しげき)
講義題目A	情報システムの仕組み
キーワードA	コンピュータ、情報システム
講義概要A	現代社会では、コンピュータやネットワークの普及により多くの情報システムが構築されています。この講義では、インターネット通信販売などを通して情報システムの仕組みを学びます。
対象	中学生・高校生
備考	プロジェクタとスクリーンを使用します。
講義題目B	Micro:bitを用いたプログラミング演習
キーワードB	プログラミング
講義概要B	コンピュータの普及により色々な作業がコンピュータによって行われています。コンピュータに作業させるためには命令を記述するプログラミングが必要となります。この講義ではMicro:bitと呼ばれる小さなコンピュータを使用して簡単なプログラミングを行いプログラミングに興味を持ってもらい、身近に感じてもらうことを目的としています。
対象	小学生・中学生・高校生
備考	Micro:bitは大学で用意しますが、演習を行うために1人1台のPCが必要になります。また講師用にパソコンとプロジェクタ、スクリーンを使用します。宮古短期大学の施設を利用した演習も可能です。

氏名	松本 安司 (まつもと やすし)
講義題目A	企業経営のための会計
キーワードA	会計、出資、借入
講義概要A	<p>会計と聞いてまず想像されるのは計算です。しかし、パソコンが普及し数十年、人間が実際に数字を用いて計算するという事はほとんどなくなったといっているでしょう。その一方で、これからの時代（といっても10年以上前からですが）、会計の知識がないと経営を理解することはできないとまで言われるようになりました。この講義では、経営の中でも特に「会社を作ること」「そのために資金を集めること」を中心にして、資金を集めるため、そして資金を出してもらった人に納得してもらおうための会計の役割について講義したいと思います。</p>
対象	中学生以上
備考	
講義題目B	数値で示すことの意味
キーワードB	目標 指標
講義概要B	<p>会計は企業活動を金額で説明することです。それと同時に会計で測定されたものは今後の企業活動改善のための目標数値となります。</p> <p>会計学の研究に取り組んでいるうちに、身体の数値や野球選手の成績など、数値指標を行動改善目標として見るようになりました。大きな目標を達成するための指標が作られ、その指標のための細かな指標が作られるという関係にあります。</p> <p>その一方で、多くの指標が作られ多くの指標が消え続けていっています。目標との関係が薄いと判断されればその指標は消えていきます。</p> <p>今回の出張講義では、行動を数値で表現することの意味について、いくつかの分野の指標とともにご紹介したいと思います。</p>
対象	中学生以上
備考	

氏名	三村 敬之 (みむら たかゆき) 「英語学」・「言語学」
講義題目	言葉の研究：日本語と英語の言語的特徴を中心に
キーワード	日英比較、言語の多様性と普遍性、英文法
講義概要	<p>日常的に言葉を用いてコミュニケーションを取る我々の周りには、日本語、英語、中国語、ドイツ語など数多くの自然言語が存在します。この講義では、このような数ある自然言語の中でも、主に日本語と英語に焦点を当て、両言語に見られる表現上の類似点と相違点をもとに、日本語と英語の言語的特徴を考察していきます。この講義を通して、皆さんが日頃慣れ親しんでいる日本語と現在学習している英語、さらには「そもそも言葉とは何なのか」といった、我々にとって身近な言葉の理解をより深めていきたいと思ひます。</p>
対象	高校生
備考	パソコンとプロジェクター、スクリーンを使用します。

氏名	大前 義幸(おおまえ あきゆき)「文学」
講義題目	小説の面白い読み方
キーワード	文学、読解力、英文法
講義概要	近年、映像や文章から情報を読み取る必要性が高まっております。しかし、一方では、本や映像から情報を読み取ることが苦手な人も増えています。情報化社会の昨今においては、多くの情報を正確に読み取ることのできる力が求められています。つまり、多くの物から情報を読み取ることができれば、人生を豊かにすることができ、尚且つ、自身の教養や知恵を身に付けることにも繋がります。本講義では、多くの小説から文章を読み取る授業を行い、読解力を向上させ、日常生活に溢れている多くの情報を正確に読み取ることができるよう指導を行います。
対象	特になし
備考	パソコンとプロジェクター、スクリーンを使用します。

氏名	鈴木 将人 (すずき まさと)
講義題目	経営学って何だろう
キーワード	企業、経営管理、企業と社会
講義概要	大学のホームページやパンフレットを見ると、さまざまな学問分野があるのがわかると思います。一方で、それらはどんなことを学ぶのかよくわからないと思っている人が少なくないのではないのでしょうか。宮古短期大学部で学ぶ分野の1つに経営学がありますが、高校生・保護者・高校の先生方から「経営学って何ですか？」という質問を受けることがあります。本講義では、経営学がどのような分野であるのかについて、わかりやすく解説します。
対象	高校生
備考	パソコンとプロジェクター、スクリーンを使用します。

氏名	谷藤 真琴 (たにふじ まこと)
講義題目A	課題研究のまとめ方
キーワードA	問題の発見、情報収集、まとめ方、発表の仕方
講義概要A	問題の発見の仕方、テーマ設定の方法、問題を解決するための(フィールドワークを含めた)情報収集の方法、収集した情報のまとめ方、発表の仕方等課題研究に関する作法やコツについて話します。
対象	なし
備考	プロジェクターとスクリーンを使用します。また講義の内容等は受講生に合わせて調整しますので、ご相談ください。
講義題目B	地域ビジネスの種の見つけ方
キーワードB	問題の発見、情報収集
講義概要B	「課題研究のまとめ方」の中でも特にフィールドワーク(現地調査)の仕方から情報収集についてお話しします。地域を活性化させるためには常識を疑って前提を覆すことも必要になります。どこに「ビジネスの種」が潜んでいるのか、その発見の仕方を一緒に考えていきましょう。
対象	なし
備考	プロジェクターとスクリーンを使用します。また講義の内容等は受講生に合わせて調整しますので、ご相談ください。

氏名	平田 哲兵 (ひらた てっぺい)
講義題目A	表計算ソフトで「やってみよう！」～確率と統計～
キーワードA	確率、統計
講義概要A	表計算ソフトを使用した確率や統計の計算を通じて、実社会で活用される確率や統計について興味関心を持つことを目的とします。講義では表計算ソフトを使った確率の計算などを通じて、データ分析の重要性などに気付いてもらいます。
対象	高校生
備考	インターネットに接続されたパソコン、プロジェクターを使用します。また、参加生徒にスマートフォンを使用しての作業をお願いすることもあります。
講義題目B	表計算ソフトで「やってみよう！」～シミュレーションに挑戦しよう～
キーワードB	表計算ソフト、シミュレーション、微分方程式、SIRモデル、感染症数理モデル
講義概要B	表計算ソフトを使用し、シミュレーションの体験をします。シミュレーションに用いられる微分方程式の考え方を学び、新型コロナウイルス感染症の予測などに用いられるSIRモデルなどについて学びます。
対象	高校生
備考	インターネットに接続されたパソコン、プロジェクターを使用します。また、参加生徒にスマートフォンを使用しての作業をお願いすることもあります。
講義題目C	農業経営者のための事業計画書づくり入門
キーワードC	農業経営、事業計画書
講義概要C	農業経営者を目指す生徒等を対象に、経営計画（事業計画書）作成の重要性を知ってもらうことを目的に、事業計画書の作成方法などについて講義をおこないます。
対象	高校生（農業高校や商業高校など）
備考	インターネットに接続されたパソコン、プロジェクターを使用します。また、参加生徒にスマートフォンを使用しての作業をお願いすることもあります。

氏名	本学部教員
講義題目	大学・短大の学びとは何か
キーワード	高大連携
講義概要	大学で学ぶことの意義は何か、高校と大学・短大で学ぶこととの違い等について説明します。また、経営情報学とは何か、を踏まえた宮古短期大学部のカリキュラム概要の説明と本学で取り組んでいる研究事例について紹介します。入試制度や学生生活、進路等についても説明します。
対象	高校生、高校教員
備考	プロジェクターとスクリーンを使用します。